

2015年1月26日

各位

ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社
(コード番号：8729 東証第一部)

本日、ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の100%子会社であるソニー生命保険株式会社が下記プレスリリースを行いましたので、お知らせします。

記

ソニー生命保険株式会社 プレスリリース (添付)

プロフェッショナルに関する調査

以上

【お問合せ先】

ソニー生命保険株式会社 広報部広報課 (電話：03-3475-8813)

NEWS LETTER (調査レポート)

ソニー生命調べ／全国の20～59歳の男女ビジネスパーソン1,000名にアンケート

“プロフェッショナル”のイメージは？ 1位「高い専門性」2位「高度なスキル」 仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ！ 1位は「常に上から目線で話す」

数多の商品・サービスが存在する昨今、ビジネスパーソンに求められることは、業務に直結する知識のみならず、関連する分野の知識、それを業務に活かすための高度なスキル、何より、それらを絶えず磨き続けようとする謙虚な心を持つことではないでしょうか。そして、それらを併せ持ったビジネスパーソンこそ、“プロフェッショナル”と呼べるのではないのでしょうか。

プロフェッショナルに徹した質の高いサービスをお届けすることをお客様への約束として掲げるソニー生命では、世のビジネスパーソンが持つプロフェッショナル意識を掘り下げるべく、アンケートを行いました。

◆本調査結果の要約◆

■ POINT 1 【プロフェッショナルのイメージ】(P.3)

⇒ “プロフェッショナル”のイメージは？ 1位「高い専門性」2位「高度なスキル」

自身が思う“プロフェッショナル”のイメージとはどのようなものか聞きました。

最も多く挙げられたのは、「高い専門性を持っている」(56.6%)でした。以下、上位10位には、「仕事を遂行するためのスキルレベルが高い」(49.6%)、「その人にしかできない仕事をしている」(48.5%)、「すべての仕事のクオリティが高い」(41.0%)、「適切な判断を行う能力がある」(34.0%)といった仕事の能力の高さ・独自性に関する項目が入りました。高度な専門性やスキルと、そこから生み出されるアウトプットの質の高さは、ビジネスパーソンが考える“プロフェッショナル”の条件と言えそうです。

■ POINT 2 【周りにいるプロフェッショナル】(P.5)

⇒ 周囲で“この人はプロフェッショナルだ”と思う人 最多は「職場の先輩・上司」

自身の周りにいる人のうち、“この人はプロフェッショナルだ”と思う人は誰か聞いたところ、最多回答となったのは「職場の先輩・上司」(14.9%)、次いで「父親」(10.8%)が挙がりました。

そう思う理由について聞いたところ、最多回答は「適切な判断を行う能力がある」(59.1%)となりました。ともに働く中で、状況に応じた判断を下す姿をみて、頼りがいを感じているのかもしれません。

■ POINT 3 【仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ】(P.8)

⇒ 仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ！ 1位は「常に上から目線で話す」

“仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ”と思うビジネスパーソン像を聞いたところ、最多回答は「常に上から目線で話す」(57.2%)、次いで、「昔の成功談をずっと自慢し続けている」(51.4%)、「すぐ怒る」(49.9%)が続きました。高圧的でプライドが高そうに見える言動は、プロフェッショナルとしてそぐわないと思われるようです。

■ POINT 4 【その道のプロフェッショナルに相談したいこと】(P.11)

⇒ プロフェッショナルに相談したいこと 「資産運用」3割強、「保険選び」と「住宅選び」は約2割

その道のプロフェッショナルに相談できるとするなら、どのようなことを相談したいか聞いたところ、最多となったのは「資産運用」(32.1%)でした。3位には「保険選び」(17.9%)、5位には「住宅選び」(17.8%)、6位には「老後のライフプラン」(15.8%)が入るなど、金額の大きな買い物やライフプランに関することはプロフェッショナルに相談したい、と考える人は少なくないようです。そのほか、「仕事の悩み」(19.5%)、「会社・仕事選び」(17.9%)といった仕事や会社に関する相談も上位に挙がりました。また、「子育て・子どもの教育」(12.0%)は1割強が相談したいと回答しています。我が子を大切に思う気持ちからか、子育てに関してプロフェッショナルの力を借りたいと思う方もいるようです。他にも、「車選び」(10.1%)についてプロに相談したいという人が1割みられました。

NEWS LETTER (調査レポート)

プロフェッショナルに関する調査

【プロフェッショナルのイメージ】

“プロフェッショナル”のイメージは？ 1位「高い専門性」2位「高度なスキル」
「自己研鑽」「情熱」など、仕事に対する真摯さもプロフェッショナルのイメージ！

【プロフェッショナルと聞いて思い浮かぶ職業】

“プロフェッショナル”と聞いて思い浮かぶ職業 1位「野球選手」2位「医師」3位「パイロット」
4割が「板前・寿司職人」、3割弱が「システムエンジニア」、2割が「漫画家」をイメージ

【周りにいるプロフェッショナル】

周囲で“この人はプロフェッショナルだ”と思う人 最多は「職場の先輩・上司」

職場の先輩・上司をプロフェッショナルだと思う理由 「適切な判断ができる」6割で最多
父親をプロフェッショナルだと思う理由 「我慢強く取り組み、仕事を途中で投げ出さない」

【自分はプロフェッショナルか】

“自分はプロフェッショナルだと思う” ビジネスパーソンの5人に1人
自分をプロフェッショナルだと思わない理由は？

【仕事がデキてもこんなプロフェッショナルは嫌だ】

仕事がデキてもこんなプロフェッショナルは嫌だ！ 1位は「常に上から目線で話す」
「ついつい言っていない？」「忙しいアピール」をするプロフェッショナルは嫌だ！ 4割弱が回答
残念なプロフェッショナル 「昔の成功談を自慢」「すぐ怒る」「外にだけいい顔」「ごますり上手」

【プロフェッショナルがお金をかけるべきもの】

プロフェッショナルがお金をかけるべきもの 1位「人脈作り」2位「資格取得」
プロフェッショナルがお金をかけるべきもの <身だしなみ> 1位は「靴」

【自分はこれに関してプロフェッショナル級だ】

これならプロフェッショナル級！ 上位は「料理」、「パソコン」、「マンガ・アニメ」、「カラオケ」

【その道のプロフェッショナルに相談したいこと】

プロフェッショナルに相談したいこと 「資産運用」3割強、「保険選び」と「住宅選び」は約2割
2割の人が「仕事の悩み」を相談したい
1割強が「子育て・子どもの教育」についてプロフェッショナルに相談したい

【“プロフェッショナル”で思い浮かぶ有名人】

“プロフェッショナル”と言えば 思い浮かぶ男性有名人 1位 圧倒的得票で「イチローさん」
“プロフェッショナル”で思い浮かぶ女性有名人 1位「浅田真央さん」2位「吉永小百合さん」

このたび、ソニー生命保険株式会社(代表取締役社長 井原 勝美)は、2014年12月9日～12月10日の2日間、全国の20～59歳の男女ビジネスパーソン(アルバイト・パートを除く)に対し、「プロフェッショナルに関する調査」をインターネットリサーチで実施し、1,000名の有効サンプルの集計結果を公開しました。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

NEWS LETTER (調査レポート)

アンケート調査結果

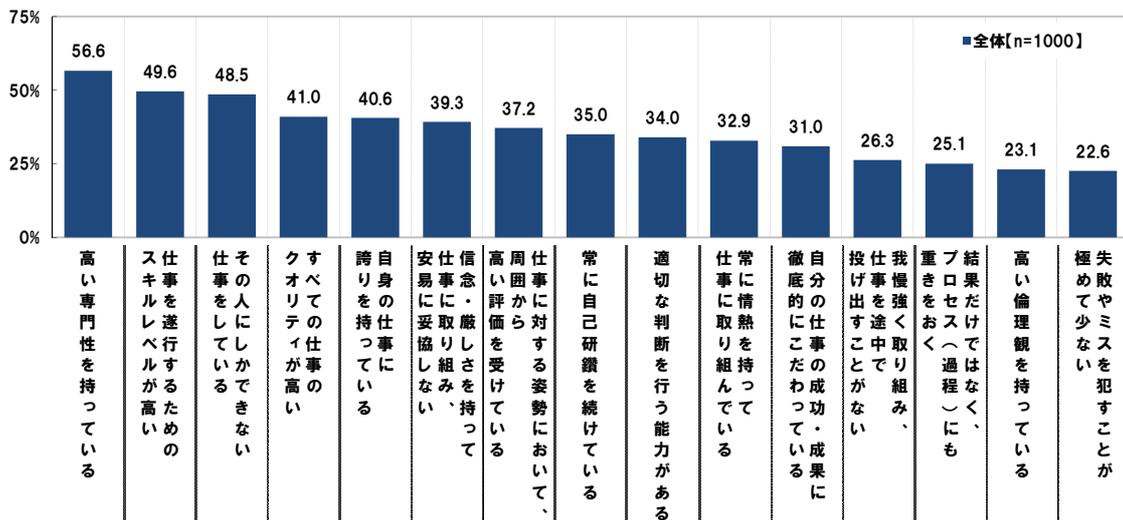
- ◆“プロフェッショナル”のイメージは？ 1位「高い専門性」 2位「高度なスキル」
- ◆「自己研鑽」「情熱」など、仕事に対する真摯さもプロフェッショナルのイメージ！

まず、ビジネスパーソンたちが“プロフェッショナル”とはどのような存在だと考えているのかを探るべく、全国の20～59歳の男女ビジネスパーソン(アルバイト・パートを除く)1,000名(全回答者)に、自身が思う“プロフェッショナル”のイメージとはどのようなものか聞きました。

最も多く挙げられたのは、「高い専門性を持っている」(56.6%)でした。以下、上位10位には、「仕事を遂行するためのスキルレベルが高い」(49.6%)、「その人にしかできない仕事をしている」(48.5%)、「すべての仕事のクオリティが高い」(41.0%)、「適切な判断を行う能力がある」(34.0%)といった仕事の能力の高さ・独自性に関する項目が入りました。高度な専門性やスキルと、そこから生み出されるアウトプットの質の高さは、ビジネスパーソンが考える“プロフェッショナル”の条件と言えそうです。また、「自身の仕事に誇りを持っている」(40.6%)、「信念・厳しさを持って仕事に取り組み、安易に妥協しない」(39.3%)、「常に自己研鑽を続けている」(35.0%)、「常に情熱を持って仕事に取り組んでいる」(32.9%)といった仕事に対する真摯さに関する点も上位項目となりました。能力だけでなく、仕事に取り組む姿勢も、プロフェッショナルという存在には重要な要素と考えられているようです。(図1)

(図1)

◆“プロフェッショナル”のイメージとはどのようなものか
(複数回答) ※上位15項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

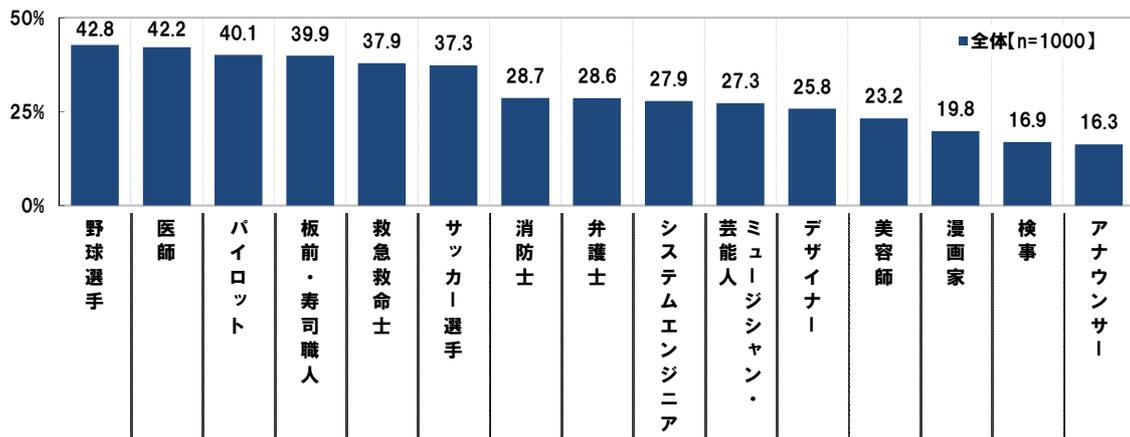
◆“プロフェッショナル”と聞いて思い浮かぶ職業 1位「野球選手」 2位「医師」 3位「パイロット」 4割が「板前・寿司職人」、3割弱が「システムエンジニア」、2割が「漫画家」をイメージ

プロフェッショナルのイメージに合致するのは、どのような職業なのでしょう。

全回答者(1,000名)に、プロフェッショナルと聞いて、どのような職業を思い浮かべるか聞いたところ、最も回答が多かったのは、「野球選手」(42.8%)で、以下、「医師」(42.2%)、「パイロット」(40.1%)、「板前・寿司職人」(39.9%)、「救命救急士」(37.9%)が続き、資格が必要になるような専門職や、職人、医療関係の職業が上位5項目となりました。また、3割弱が「システムエンジニア」(27.9%)、「ミュージシャン・芸能人」(27.3%)、2割半が「デザイナー」(25.8%)、2割が「漫画家」(19.8%)を挙げており、クリエイティブな職業を思い浮かべるという人もみられました。(図2)

(図2)

◆プロフェッショナルと聞いて、どのような職業を思い浮かべるか
(複数回答) ※上位15項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

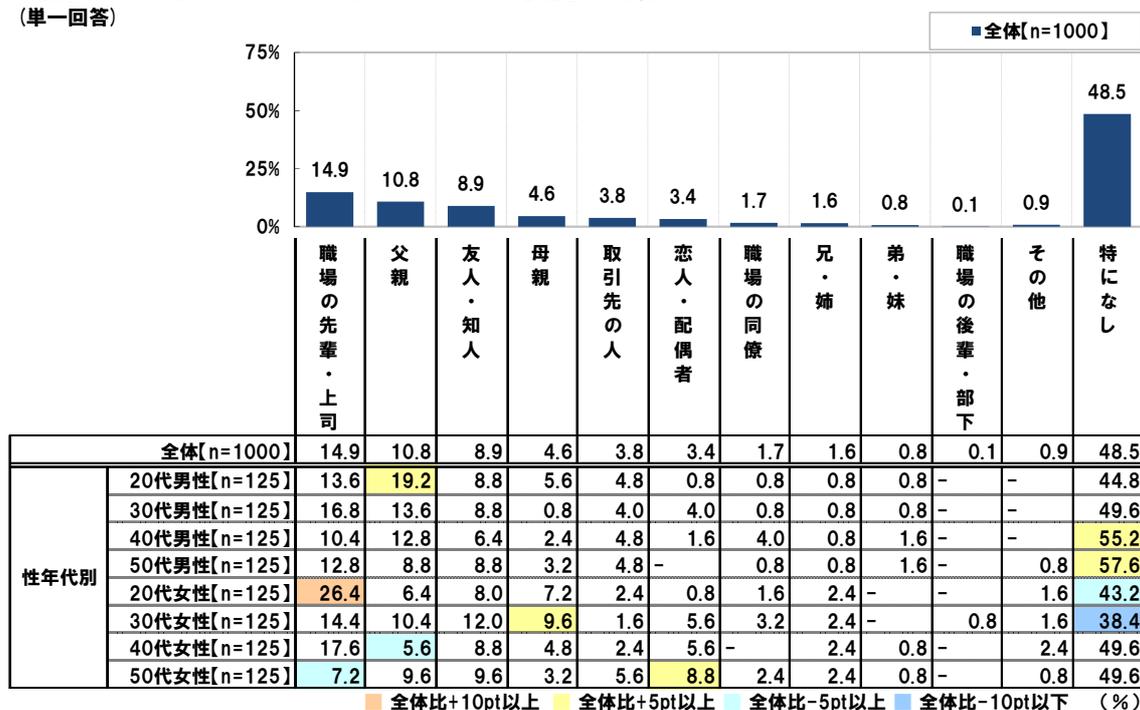
- ◆周囲で“この人はプロフェッショナルだ”と思う人 最多は「職場の先輩・上司」
- ◆20代男性にとって最も身近なプロフェッショナルは「父親」
- ◆職場の先輩・上司をプロフェッショナルだと思う理由「適切な判断ができる」6割で最多
- ◆父親をプロフェッショナルだと思う理由「我慢強く取り組み、仕事を途中で投げ出さない」

それでは自身の周りには、プロフェッショナルだと思える人はいるのでしょうか。全回答者(1,000名)に、自身の周りにいる人のうち、“この人はプロフェッショナルだ”と思う人は誰か聞いたところ、最多回答となったのは「職場の先輩・上司」(14.9%)、次いで「父親」(10.8%)が挙がりました。

性年代別にみると、20代男性では、「父親」(19.2%)との回答が最も多くなりました。若い世代の男性は、自身の父親を最も身近なプロフェッショナルだと感じているようです。(図3)

(図3)

◆自身の周りにいる人のうち、“この人はプロフェッショナルだ”と思う人は誰か
(単一回答)

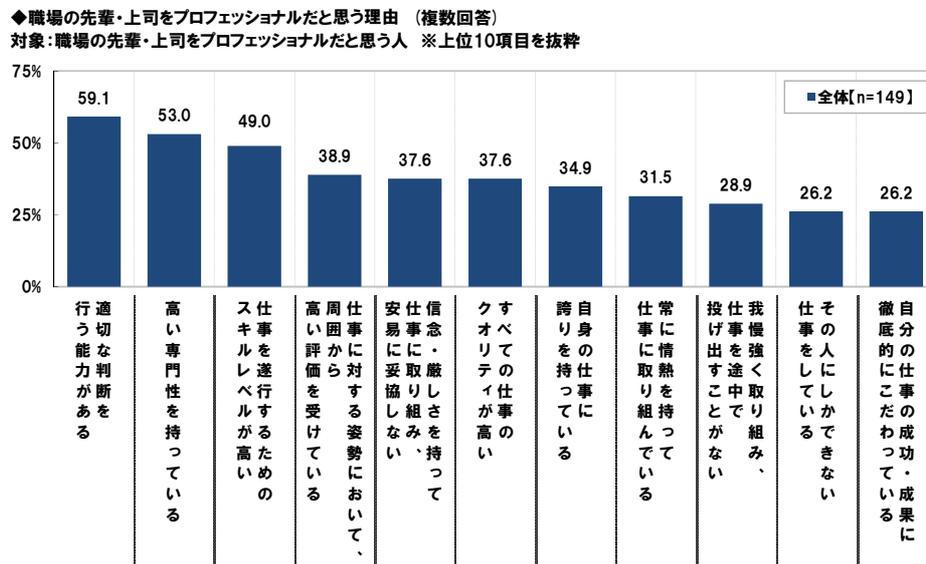


NEWS LETTER (調査レポート)

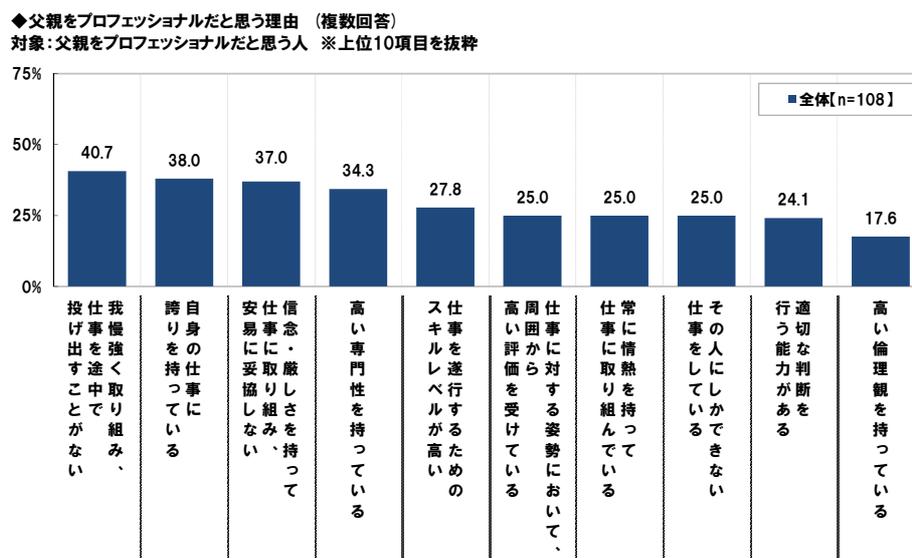
続いて、自身の周りにいるプロフェッショナルとして“職場の先輩・上司”を挙げた人(149名)に対し、そう思う理由について聞いたところ、最多回答は「適切な判断を行う能力がある」(59.1%)となりました。ともに働く中で、状況に応じた判断を下す姿をみて、頼りがいを感じているのかもしれませんが。(図4)

“父親”を挙げた人(108名)に対しても同じ選択肢を提示して同様の質問を行ったところ、最多回答となったのは、「我慢強く取り組み、仕事を途中で投げ出すことがない」(40.7%)で、以下、「自身の仕事に誇りを持っている」(38.0%)、「信念・厳しさを持って仕事に取り組み、安易に妥協しない」(37.0%)が続きました。垣間みえる我慢強さ、自分への厳しさといった父親の姿に接し、プロフェッショナル性を感じる人は多いようです。(図5)

(図4)



(図5)



NEWS LETTER (調査レポート)

◆“自分はプロフェッショナルだと思う” ビジネスパーソンの5人に1人

◆自分をプロフェッショナルだと思わない理由は？

それでは、自分自身についてはどのように思っているのでしょうか。全回答者(1,000名)に、自分が今の仕事でプロフェッショナルだと思うか聞いたところ、「そう思う」は21.5%、「そう思わない」は50.9%となり、5人に1人はプロフェッショナルという自負を持っているものの、半数は今の仕事において自身をプロフェッショナルだと思っていないことが明らかになりました。(図6)

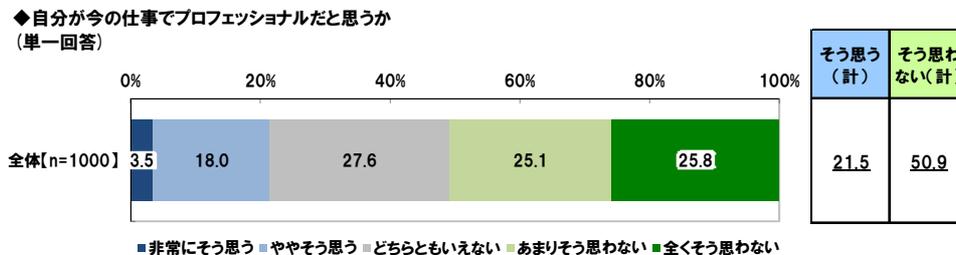
また、ビジネスパーソンたちが、自身をプロフェッショナルであると考えたり、反対にプロフェッショナルでないと考えたりしている理由についても質問を行いました。

「そう思う」と回答した理由をみると、「資格を生かした仕事をしているから」(30代女性)、「自分にしかできない仕事があるから」(20代女性)、「自分の仕事に誇りを持っているから」(50代男性)など、専門性や独自性、そして誇りを持って仕事に取り組んでいることを理由とする回答が多くみられました。

一方、「そう思わない」理由は、大きく2つのパターンに分けられました。ひとつは、「自信がないから」(50代女性)、「誰でもできる仕事だから」(30代男性)など、仕事内容に対して自信や誇りを持っていないということ、もうひとつは、「まだまだ知識などを吸収できると思うから」(40代女性)、「まだまだ勉強不足だから」(20代男性)など、自分自身がまだ成長過程にあるということでした。

(図7)

(図6)



(図7)

◆自分が今の仕事でプロフェッショナルだと思う理由・思わない理由 (自由回答)

自分をプロフェッショナルだと思うか	理由(一部抜粋)
そう思う	自分にしかできない仕事があるから(20代女性)
	ベストを尽くしているから(30代男性)
	資格を生かした仕事をしているから(30代女性)
	自分の仕事に誇りを持っているから(50代男性)
	安易に妥協した仕事は許されないから。強く信念を持って行っているから(50代女性)
そう思わない	まだまだ勉強不足だから(20代男性)
	喜びや感謝、つらさや理不尽なことを色々味わうから(20代女性)
	誰でもできる仕事だから(30代男性)
	まだまだ知識などを吸収できると思うから(40代女性)
	自信がないから(50代女性)

NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆ 仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ！ 1位は「常に上から目線で話す」
- ◆ 「ついつい言っていない？ “忙しいアピール”をするプロフェッショナルは嫌だ！ 4割弱が回答
- ◆ 残念なプロフェッショナル 「昔の成功談を自慢」「すぐ怒る」「外にだけいい顔」「ごますり上手」

プロフェッショナルのイメージに合致していても、“こんな人はプロフェッショナルとして認めたくない”と思われるような人も、中にはいるのではないのでしょうか。

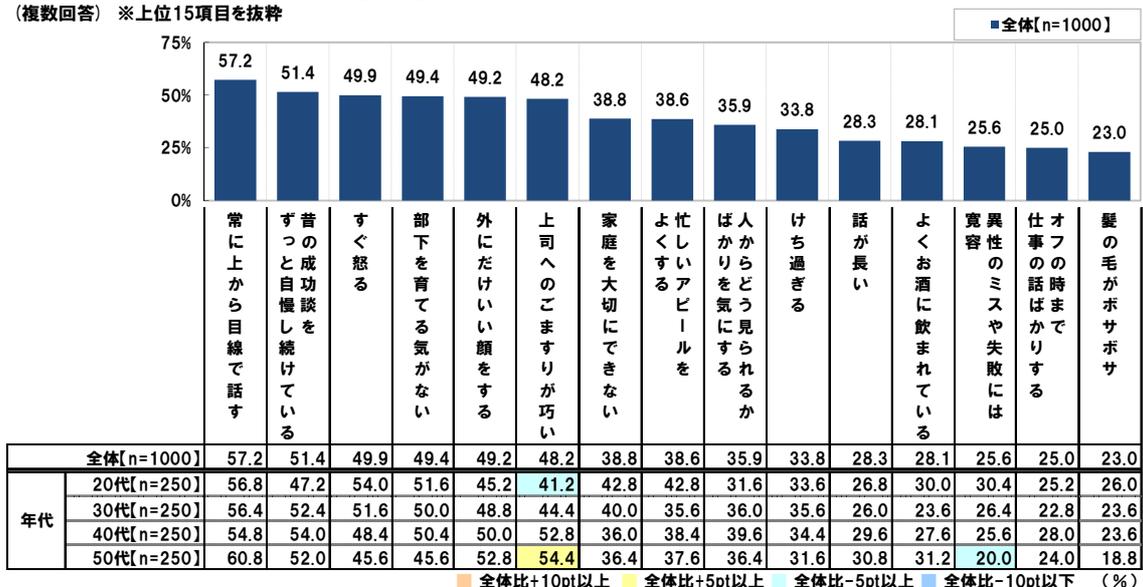
全回答者(1,000名)に、“仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ”と思うビジネスパーソン像を聞いたところ、最多回答は「常に上から目線で話す」(57.2%)、次いで、「昔の成功談をずっと自慢し続けている」(51.4%)、「すぐ怒る」(49.9%)が続きました。高圧的でプライドが高そうにみえる言動は、プロフェッショナルとしてそぐわないと思われるようです。そのほか、上位10位には、「部下を育てる気がない」(49.4%)、「上司へのごますりが巧い」(48.2%)といった、社内での人間関係に関する項目や、「外にだけいい顔をする」(49.2%)、「忙しいアピールをよくする」(38.6%)、「人からどう見られるかばかりを気にする」(35.9%)といった、外間に関する項目が入りました。さらに、10位には「けち過ぎる」(33.8%)が入りました。カッコいいプロフェッショナルであるためには、お金を使うべきところでは惜しまず使ったほうがいいかもしれません。

年代別にみると、「上司へのごますりが巧い」では、20代41.2%、30代44.4%、40代52.8%、50代54.4%と、年代が上がるにつれ割合も高くなっています。仕事の酸いも甘いも経験してきたビジネスパーソンほど、実力以外で“点数稼ぎ”をしようとする人に対して、良い印象を抱かないようです。

(図8)

(図8)

◆ “仕事ができてこんなプロフェッショナルは嫌だ”と思うビジネスパーソン像 (複数回答) ※上位15項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆プロフェッショナルがお金をかけるべきもの 1位「人脈作り」 2位「資格取得」
- ◆ベテランビジネスパーソンほど「一般教養の習熟」への投資を重視する傾向
- ◆プロフェッショナルがお金をかけるべきもの 《身だしなみ》1位は「靴」
- ◆プロフェッショナルは「スーツ」にお金をかけるべき 20代の4割強

“こんなプロフェッショナルは嫌だ”に、“けち過ぎるプロフェッショナル”が挙げられていました。プロフェッショナルは、お金をかけるべきところでは、きちんとかけるべきだ、と思われるようです。

では、プロフェッショナルは何にお金を使うべきなのでしょう。全回答者(1,000名)に、プロフェッショナルがお金をかけるべきだと思うものについて聞いたところ、《自己研鑽・自己啓発》部門では、1位は「人脈作り」(42.1%)、2位は「資格取得」(36.3%)、3位は「ニュースの収集」(30.9%)となりました。

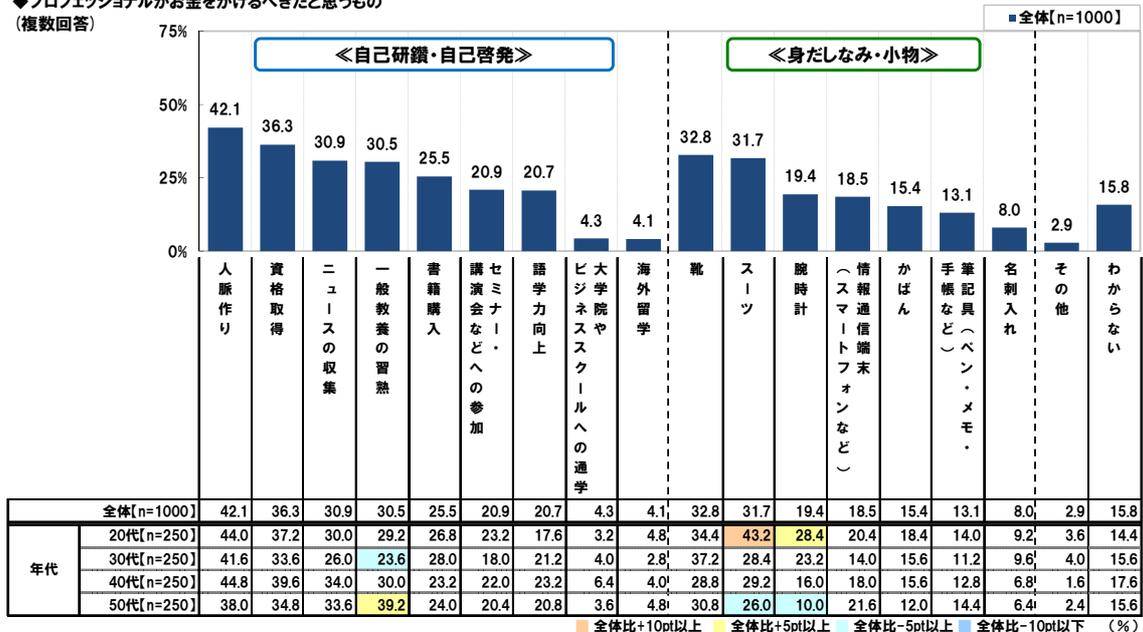
年代別に見ると、「一般教養の習熟」について、20代では29.2%、30代23.6%、40代30.0%と、2割強～3割であるのに対し、50代では39.2%と4割になりました。ベテランのビジネスパーソンは、一般教養の習熟にお金をかけるべきだと考えているようです。

続いて、《身だしなみ・小物》部門では、1位は「靴」(32.8%)、2位は「スーツ」(31.7%)、3位は「腕時計」(19.4%)となりました。

年代別にみると、「スーツ」と回答している割合は、20代では43.2%で4割強となりましたが、30代28.4%、40代29.2%、50代26.0%と、他の年代ではいずれも2割台となりました。(図9)

(図9)

◆プロフェッショナルがお金をかけるべきだと思うもの
(複数回答)



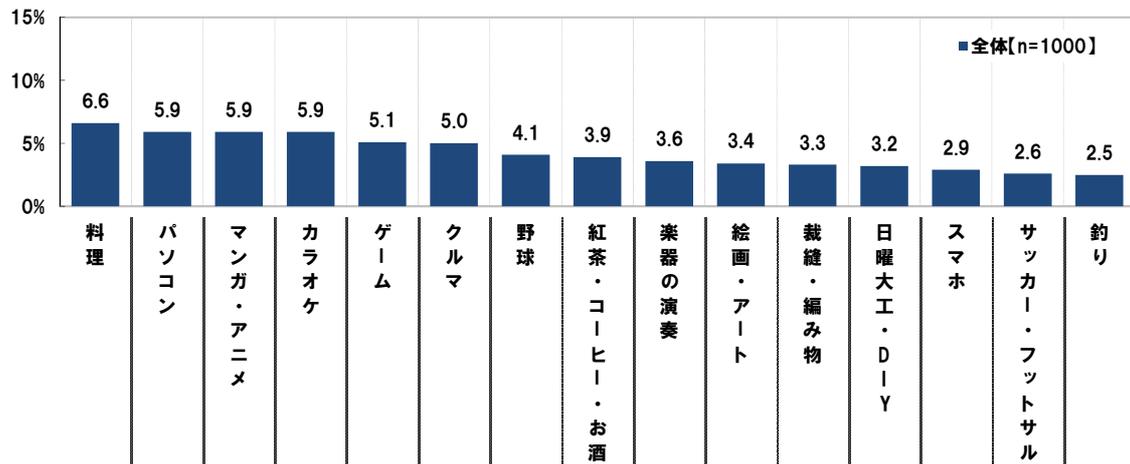
NEWS LETTER (調査レポート)

◆これならプロフェッショナル級！ 上位は「料理」、「パソコン」、「マンガ・アニメ」、「カラオケ」

“プロフェッショナル”という言葉は一般的には、職業などに対して使われる言葉ですが、ある道に精通していること、非常に巧みな技術を持っていることの比喩として使われる場合もあります。そこで、全回答者(1,000名)に、“自分はこれに関してプロフェッショナル級の知識や腕前がある”と言えるものを聞いたところ、1位は「料理」(6.6%)、2位は「パソコン」、「マンガ・アニメ」、「カラオケ」が並びました(すべて5.9%)。以下、5位は「ゲーム」(5.1%)、6位は「クルマ」(5.0%)、7位は「野球」(4.1%)、8位は「紅茶・コーヒー・お酒」(3.9%)、9位は「楽器の演奏」(3.6%)、10位は「絵画・アート」(3.4%)が続きました。(図10)

(図10)

◆“自分はこれに関してプロフェッショナル級の知識や腕前がある”と言えるもの
(複数回答) ※上位15項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

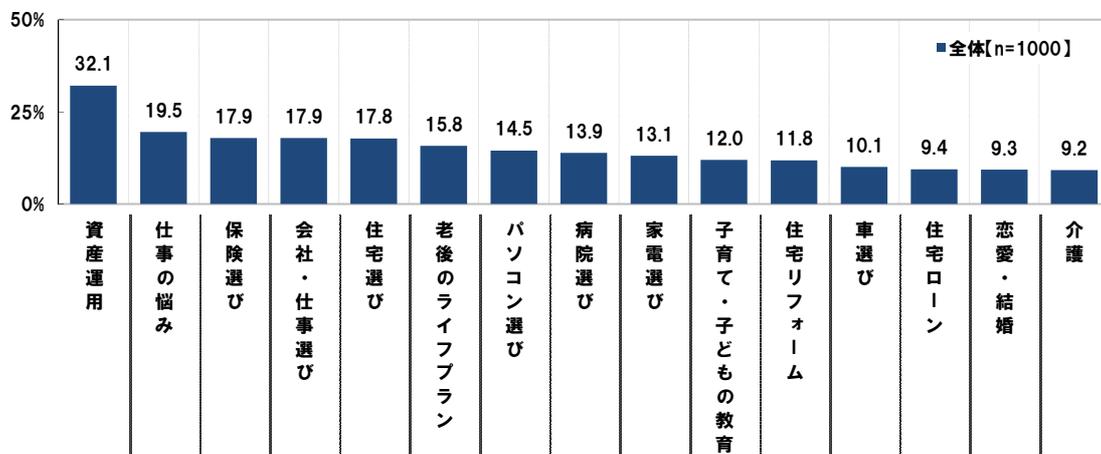
- ◆プロフェッショナルに相談したいこと「資産運用」3割強、「保険選び」と「住宅選び」は約2割
- ◆2割の人が「仕事の悩み」を相談したい
- ◆1割強が「子育て・子どもの教育」についてプロフェッショナルに相談したい

自分の知識や腕前に自信を持っている分野がある一方で、高度な専門知識のあるプロフェッショナルに頼りたいと思うこともあるのではないのでしょうか。

そこで、全回答者(1,000名)に、その道のプロフェッショナルに相談できるとするなら、どのようなことを相談したいか聞いたところ、最多となったのは「資産運用」(32.1%)でした。3位には「保険選び」(17.9%)、5位には「住宅選び」(17.8%)、6位には「老後のライフプラン」(15.8%)が入るなど、金額の大きな買い物やライフプランに関することはプロフェッショナルに相談したい、と考える人は少なくないようです。そのほか、「仕事の悩み」(19.5%)、「会社・仕事選び」(17.9%)といった仕事や会社に関する相談も上位に挙がりました。また、「子育て・子どもの教育」(12.0%)は1割強が相談したいと回答しています。我が子を大切に思う気持ちからか、子育てに関してプロフェッショナルの力を借りたいと思う方もいるようです。他にも、「車選び」(10.1%)についてプロに相談したいという人が1割みられました。(図11)

(図11)

◆その道のプロフェッショナルに相談できるとするなら、どのようなことを相談したいか
(複数回答) ※上位15項目を抜粋



NEWS LETTER (調査レポート)

- ◆“プロフェッショナル”と言えば 思い浮かぶ男性有名人 1位 圧倒的得票で「イチローさん」
- ◆“プロフェッショナル”で思い浮かぶ女性有名人 1位「浅田真央さん」 2位「吉永小百合さん」
- ◆ビジネスパーソンはトップアスリートの高い向上心にプロフェッショナル性を感じている？

最後に、全回答者(1,000名)に、プロフェッショナルと言えば、有名人では誰を思い浮かべるか、男女それぞれ1名ずつ挙げてもらいました。

男性では、プロフェッショナルと聞いて思い浮かべる職業 1位の“野球選手”である「イチローさん」が、200件と圧倒的な得票でトップとなりました。次ぐ2位は「高倉健さん」(42件)、3位は「明石家さんまさん」(25件)、4位は「池上彰さん」、「本田圭佑さん」(ともに23件)でした。

また、1位の“イチローさん”をプロフェッショナルだと思う理由として、「スティックに自分の可能性を最大限まで引き出そうとしているから」(40代女性)、「常に向上心を持っているから」(30代男性)といった、スティックさをはじめとした精神的な面を挙げる回答が多くみられました。

女性では、1位はフィギュアスケート選手の「浅田真央さん」(41件)、2位は「吉永小百合さん」(30件)、3位は「クルム伊達公子さん」(25件)、4位は「吉田沙保里さん」(23件)、5位は「澤穂希さん」(19件)でした。

1位の“浅田真央さん”をプロフェッショナルだと思う理由としては、「常に進化を心掛けているから」(50代男性)、「悪い時も努力を怠らず、スティックだから」(40代男性)など、向上心を理由とする回答が中心となりました。(図12)

ビジネスパーソンは、トップアスリートの高い向上心にプロフェッショナル性を感じているようです。

(図12)

◆プロフェッショナルとして思い浮かぶ有名人と、その理由(自由回答)
 ※上位5位までを抜粋 全体[n=1000]

＜男性有名人＞

順位	有名人名	件数	理由(一部抜粋)
1位	イチロー	200	・スティックに自分の可能性を最大限まで引き出そうとしているから(40代女性) ・常に向上心を持っているから(30代男性)
2位	高倉 健	42	・目下の人間にも物腰が低く、常に学びの姿勢もあり、生涯映画俳優として生きた方だから(50代女性)
3位	明石家さんま	25	・人を笑わせること、楽しませることに徹底していると思うから(40代女性) ・どんな番組でも笑いをとるから(50代男性)
4位	池上彰	23	・誰にでも分かりやすい話し方と説明ができるから(30代女性) ・記者としての業務を全うしていると思うから(30代男性)
	本田圭佑		・高いスキルをもって世界で活躍しているから(20代男性) ・幼少から目指す目標を違わず、たどり着き、まだ前進しようとしているから(30代女性)

＜女性有名人＞

順位	有名人名	件数	理由(一部抜粋)
1位	浅田真央	41	・常に進化を心掛けているから(50代男性) ・悪い時も努力を怠らず、スティックだから(40代男性)
2位	吉永小百合	30	・年を感じさせない美しさ、上品さを維持し続けているから(50代女性) ・女優の仕事に誇りを持っているから(30代女性)
3位	クルム伊達公子	25	・歳を感じさせず、アクティブな生き方をしているから(40代男性) ・自己管理を徹底しているから(40代女性)
4位	吉田沙保里	23	・精神面と肉体面での強さを兼ね揃えているから(20代女性) ・圧倒的な強さを維持しているから(20代男性)
5位	澤穂希	19	・世界一の称号を手に入れ、なおも向上心を持ち続けているから(30代男性) ・情熱的だから(40代男性)

NEWS LETTER (調査レポート)

注: 本調査レポートの百分率表示は小数点第2位で四捨五入の丸め計算を行っているため、合計しても100%とならない場合がございます。

《調査概要》

- ◆調査タイトル : プロフェッショナルに関する調査
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのモニター会員を母集団とする
全国の20～59歳の男女ビジネスパーソン(アルバイト・パートを除く)
- ◆調査期間 : 2014年12月9日～12月10日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル(有効回答から性別×年代区分が均等になるように抽出)
(内訳)男性500名: 20代125名/30代125名/40代125名/50代125名
女性500名: 20代125名/30代125名/40代125名/50代125名
- ◆調査協力会社 : ネットエイジア株式会社

■■報道関係の皆様へ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「ソニー生命調べ」と付記のうえご使用いただきますよう、お願い申し上げます。

■■本調査に関するお問い合わせ窓口■■

ソニー生命保険株式会社 広報部 広報課 大金、常松
電話番号 : 03-3475-8813

■■会社概要■■

会社名 : ソニー生命保険株式会社
代表者名 : 代表取締役社長 井原勝美
設立 : 1979(昭和54)年8月
所在地 : 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館3階
業務内容 : 生命保険業

SL14-0691-0004